

「留学生が先生！」の思い出

研修部会 副会長 田淵 洋子

24年間続けてきた「留学生が先生！」がついに終わりを告げました。

「留学生が先生！」教育プログラムの事業は、日本の大学や大学院で学んでいる外国人留学生を、小学校・中学校へ派遣し異文化理解教育の一翼を担ってもらうものです。

AIRAでは、AIRA会員である吉武保子さんの呼びかけで予算を投じ、(財)日本教育映像協会のこの教育プログラム^(注)を、1994(平成6)年12月に初めて実施しました。当初は、年3名ほどの留学生でしたが、年々学校からの要望が多くなりました。AIRA(広報部田淵)では、1998(平成10)年市教育委員会の今関教育長と校長会長及び市議会議員に協力を呼びかけ、1999(平成11)

年から市教育委員会の主催事業として行うことになり、AIRAはサイドサポートとして送迎に徹することになりました。

事業費は、年によって半額負担や無料の時もありましたが、2002(平成14)年からは全額(財)日本教育映像協会(2004年(財)国際教育映像協会に改名)のご尽力で、同協会が全額負担することになり、AIRAからの負担はなくなりました。

当初、(財)日本教育映像協会は、和菓子店「三万石」の寄付によって維持されていましたが、2010(平成22)年から(公財)国際理解支援協会と名前を変え、同協会の評議員前会長・神内良一氏のご寄付によって留学生への講師料や協会運営費が賄われてきました。



湖北中学校にて(2009.11)



留学生の給食体験(2011.7.4)

【注】(財)日本教育映像協会が1988年に教育関係者などによる企画制作委員会を発足させ、中学・高校生のための「留学生が先生！」教育プログラムの開発に取り組む。1989年から学校での実施が開始され、東京都教育委員会の後援を得て、東京都教育庁が進める国際理解教育推進事業に位置づけられる。1992年には文部省(当時)の後援を得る。

「日本語教室—火曜日・土曜日クラス」

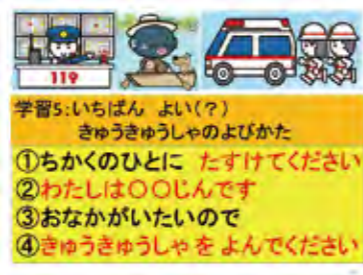
我孫子市からの委託事業として、我孫子市と周辺に住む外国出身の人を対象に、火曜日及び土曜日の午前中に「毎日の生活で使うやさしい日本語」を学ぶ日本語教室を開いています。教室では、ボランティア講師が受講生の日本語のレベルに応じた学習を個々に行っています。各学期末にはテーマを決めて、クラス全員で学習する合同学習会を開き、仲間づくりにも努めています。

1 火曜日クラスの「救急車を呼ぶ!」。緊急時の消防署、警察署への通報の仕方、症状や状況の伝え方、説明の仕方などをグループに分かれ、ボランティア講師を交えて体験しながら学習しました。

2 土曜日クラスの「日本を知ろう!」。床に日本地図を広げて、地域の名前と場所、特産品の産地の場所などを全員で助け合いながら探し当てました。「旅行したことがある場所は?」「行ってみたいところは?」などを地図に示して話をしていました。



救急車を呼ぶ!(火曜クラス)(2018.3.6)



日本を知ろう!(土曜クラス)(2017.12.16)

参加留学生の出身国及び留学先大学

出身国 留学先大学

| | | |
|------------|----------------|------------|
| 1 アゼルバイジャン | 17 パキスタン | 1 お茶ノ水女子大学 |
| 2 アルゼンチン | 18 バングラデシュ | 2 国際基督教大学 |
| 3 インドネシア | 19 フィリピン | 3 順天堂大学 |
| 4 ウクライナ | 20 フィンランド | 4 上智大学 |
| 5 エストニア | 21 ブラジル | 5 千葉大学 |
| 6 カザフスタン | 22 フランス | 6 筑波大学 |
| 7 韓国 | 23 ブルガリア | 7 東京外語大学 |
| 8 キルギス | 24 ベルギー | 8 東京学芸大学 |
| 9 ジンバブエ | 25 ベルギー | 9 東京芸術大学 |
| 10 スペイン | 26 ポーランド | 10 東京大学 |
| 11 スリランカ | 27 ボスニアヘルツェゴビナ | 11 東京農業大学 |
| 12 スロバキア | 28 メキシコ | 12 文京学院大学 |
| 13 台湾 | 29 モーリタニア | 13 法政大学 |
| 14 中国 | 30 モンゴル | 14 立教大学 |
| 15 トルコ | 31 ルーマニア | 15 早稲田大学 |
| 16 ネパール | 32 ロシア | など |

(50音順)

しかしながら、その神内氏が2017年ご逝去され、同協会からの支援が中止されたため、この事業を継続することが困難となりました。現在、この「留学生が先生！」教育プログラムは、2018(平成30)年4月以降は中断されています。

我孫子市においても、残念ではありますが2017(平成29)年度をもって終了となりました。

ご協力下さいましたみなさま方に厚く御礼申し上げます。

送迎ボランティアの活躍

田淵さんのブログから抜粋(趣旨)

<https://blogs.yahoo.co.jp/aira199211/MYBLOG/yblog.html?m=lc&p=1>

2007.12.27

11月市内中学校に留学生13人が訪れた。「留学生が先生！」という授業で、派遣されてきた留学生の駅と学校間の送迎をした。この日は、台湾・ブラジル・イスラエル・ロシア・イラン・トルコ・中国・バングラデシュ・ブルガリア・セネガル・スリランカ・韓国・リトアニアの13カ国から日本の大学に研究に来ているとても優秀な留学生。日本語ペラペラ、漢字までこなす。一度に13カ国というのは新記録なので、みんなで記念撮影をした。どの人が送迎ボランティアか見分けがつかない? それぞれの国の政治はここでは関係なく、日本語でのやりとりでイスラエルとイランも、台湾と中国も和気藹々と語り合います。



2008.1.24

9人の留学生を市内の中学校へ案内した。セネガル・トルコ・ブラジル・モンゴル・チュニジア・ドイツ・ブルガリア・タンザニア・パキスタンの9カ国。これだけの国の人と一緒に会うことは空港にでも行かないとありえない。そして皆さん流暢な日本語。今日訪れた中学の生徒も、なかなかいい。明るくて、はきはきしている。留学生の授業のお礼にクラスで合唱を披露した(写真)。こういう子供たちを見ると「本当に子どもたちって素晴らしい親善大使」だと思う。我が市では、公立の小中学校の全校で「留学生が先生！」授業を実施している。また、市のALT(外国語指導助手)は6人もいる。「どうよ〜」なんて自慢したくなるわけですよ!



2009.1.22

今日の湖北中学校「留学生が先生！」は、全学年一斉に授業に参加する。モンゴル・韓国・ネパール・台湾・ブルガリア・パキスタン・バングラデシュ・インドネシア・ボスニア ヘルツェゴビナ・中国の10カ国。国際教育映像協会の理事も来校された。各国の教室に各々1年生から3年生まで参加している。留学生から難しい質問が出ると3年生が答えたり、民族衣装の試着は1年生が積極的に手を挙げたり、なかなか面白い授業だった。



2010.2

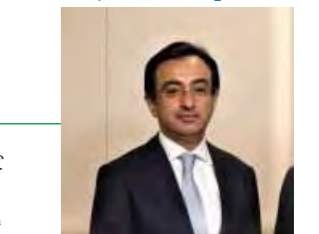
AIRAまつりでもバラライカ演奏の演奏を聞かせていただいたクリコフ マキシム(ロシア)さんから「2009年留学生文学賞の奨励作品賞」に選ばれたとのメールをもらった。受賞作品の小説「再会」がアップされていたので読んでみた。「留学生が先生！」の思い出を元に、実に巧みな日本語で書かれている。



「AIRAまつり」にて

2013.6

2001年頃留学生として我孫子市の小中学校にも来てくださっていたアゼルバイジャンのギョルセル・イスマイルザーデさんが国の駐日大使として来日して出席。「オオ暫く、お元気でしたか?」と覚えていてくれて嬉しかった。



「留学生講師との懇親の集い」にて